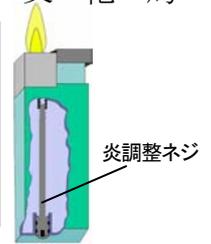
平成１５年１２月　３日
生　活　文　化　局

事故防止テストの結果

炎調整ネジ式のガスライターに注意！

～　炎調整時に炎調整ネジが外れ、ガスが吹き出すものがあります　～

炎調整ネジ

都内の消費者センターに、「ガスライターでタバコに火をつけようとしたら、底の炎調整ネジが外れ、噴出したガスに引火し火傷した。」という相談が寄せられました。東京都消費生活総合センターの調査では、炎調整ネジの抜け止め機構（ストッパ）がないための事故と判明しました。

そこで、このような事故を防止するため、事例と同様の構造※1のガスライター28 銘柄※2（100～3800 円）についてテストを行いましたので情報提供いたします。

※１：炎調整ネジ式。なお、市場調査の結果では、この方式の全てがガスを再注入可能な構造だった。また、いわゆる使い捨てのライター以外は大半がこの方式であった。
※２：今回、ストッパの有無が外観からでは判断不能なものを無作為に選択しテストした。

主なテスト結果

(1) テストした 28 銘柄中 18 銘柄(64％)の炎調整ネジ（図１：裏面）にストッパがなかった。
(2) ストッパの無いライターは、炎を大きくする方向(＋方向)にネジを回すとネジが外れてガスが漏れ出した（図２：裏面）。このとき、付近に炎(ろうそく或いは自身の炎)があるとガスに引火して燃焼し、場合によっては火傷や火災に繋がる可能性がある。
(3) ガスが漏れ出した商品の大半(18 銘柄中 17 銘柄)は、ガス漏れの直前でも炎が極端には大きくはならず通常に着火できることから、事前にガス漏れを予見することは難しかった。
(4) ガスが漏れ出した商品のどの銘柄にも、炎調整ネジを回すことでガスが漏れる旨の表示はなかった。また、ストッパのない 18 銘柄中「使用上の注意」、「発売元等（連絡先）」のいずれの表示も無いものが 7 銘柄(39％)、「発売元等(連絡先)」に限ると 14 銘柄(78％)に表示がなかった（図３：裏面）。（なお、これらの表示は法令による義務はない。）

結果に基づく措置

(1) **国に対し**、ガスライターの安全性向上について製造業者や輸入事業者を含む販売事業者を指導するように要望する。
(2) **関係団体に対し**以下について要望する。
　ア 製造業者団体に対し、安全自主基準の明確化及び遵守をはかること。
　イ 販売業者団体に対し、製造業者団体等が定める安全基準に適合した製品等安全性の高い商品を取扱うよう努めること。また、製造, 発売元などの連絡先表示がある製品を取扱うこと。

消費者へのアドバイス

(1) 炎調整ネジに触るときは、火の気のあるところを避け、覗きこまないなど注意しましょう。
(2) 万一事故が発生したときのため、製造・販売者名や連絡先などが記載されているものを購入しましょう。取扱説明書は保管しておきましょう。
(3) 商品の欠陥が原因で事故が起こった場合、補償対象になるので、連絡先の記載がある保険付きのものを目安に購入すると良いでしょう。

［お問い合わせ先］
東京都消費生活総合センター　技術支援課
TEL03-3433-8563

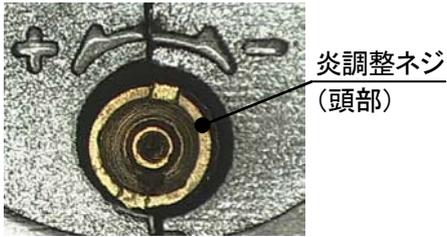



図１　ネジ式の調整部（例）

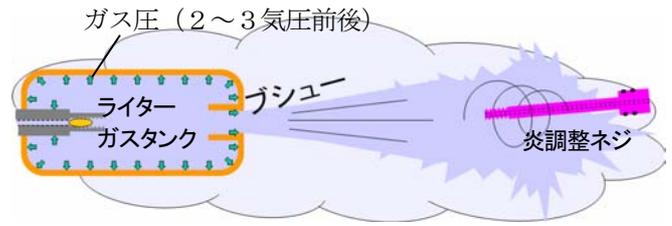



図２　ネジが外れて、ガスが漏れるイメージ

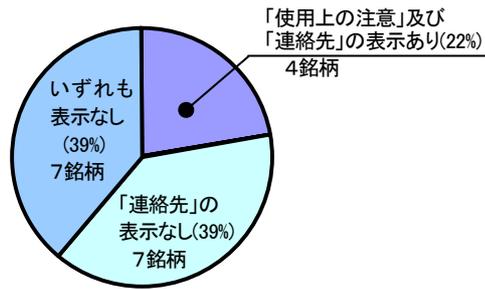



図３　表示の記載割合
（ガスが漏れだした１８銘柄について）